

題材デザイン FIRST STEP ―中学校技術・家庭科(家庭分野)―

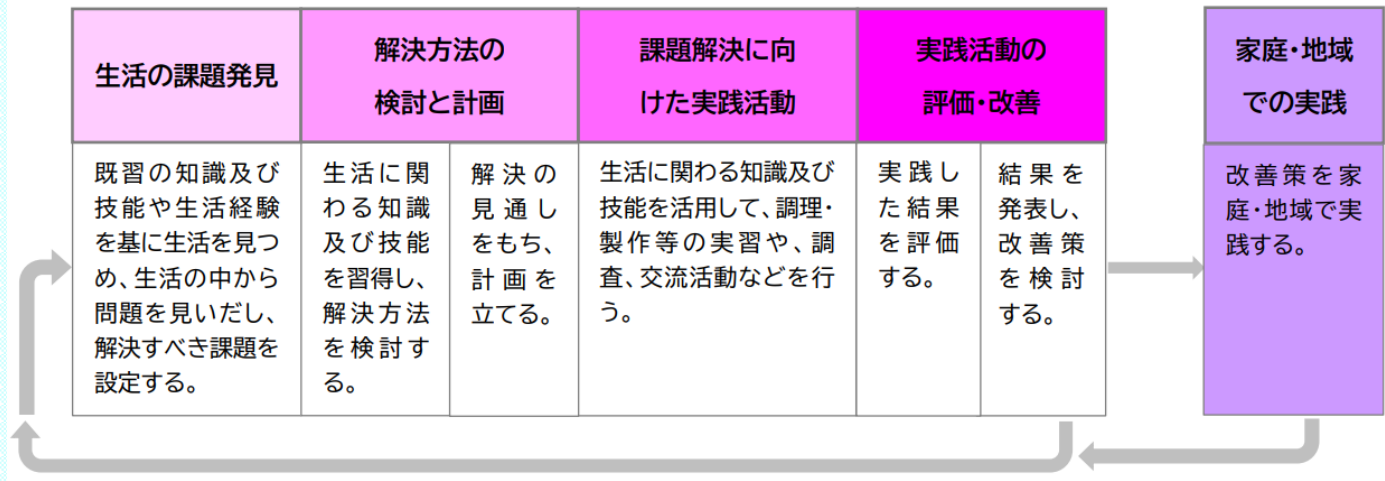
1 題材デザインは何のため？

- 学習指導要領では、資質・能力を育成するため、単元や題材などの内容や時間のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」を実現することが大切だと示されています。
- 「指導と評価の一体化」の観点から、題材の指導と評価の計画を作成することが求められています。
- 教師が生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、意図的・計画的に授業づくりを行うことができます。
- 生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができます。



2 題材デザインの手順

- ① 各学校で作成した年間指導計画で取り扱う題材を確認します。
- ② 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編(以下、学習指導要領解説)に示されている指導事項を確認します。
- ③ 指導する内容に関する生徒の実態等を踏まえ、より身近な題材となるよう検討します。
- ④ 題材を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、題材の目標を設定します。
- ⑤ 題材を通して身に付けさせたい資質・能力を育成するために、以下に示す4段階で構成される一連の問題解決的な学習過程(以下、「一連の学習過程」と示す)を基に、指導と評価の計画を立てます。

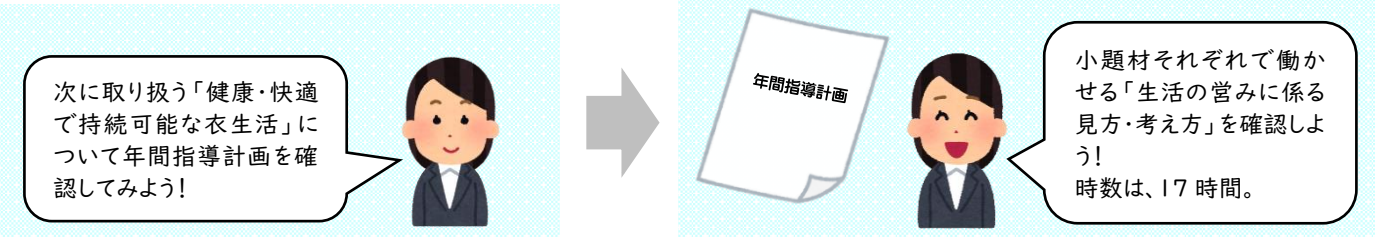


学習指導要領解説p. 65を基に作成

題材デザインの具体(題材の例)

内容のまとめ 「B 衣食住の生活」(4)衣服の選択と手入れ (5)生活を豊かにするための布を用いた製作
【具体例】 健康・快適で持続可能な衣生活

- ① 各学校で作成した年間指導計画で取り扱う題材を確認します。
→ 年間指導計画において、題材の内容やその題材において働かせる生活の営みに係る見方・考え方、時数等を確認します。※年間指導計画に「生活の営みに係る見方・考え方」についての記載がなければ、教科書で確認しましょう。



- ② 学習指導要領解説に示されている指導事項を確認します。
→ 学習指導要領解説において、当該内容項目における指導事項の具体を確認します。



- ③ 指導する内容に関する生徒の実態等を踏まえ、より身近な題材となるよう検討します。
題材の設定に当たっては、生徒の発達段階等に応じて効果的な学習が展開できるよう、内容「A 家族・家庭生活」から「C 消費生活・環境」までの各内容項目や指導事項の相互の関連を図ることが大切です。また、地域や学校の実態、生徒の興味・関心等に応じて、より身近な題材を設定することが大切です。



「健康・快適で持続可能な衣生活」という題材を設定し、社会や地域の問題につながる自分や家族の課題から、資源や環境に配慮し、生活を豊かにする工夫等について主体的に考え、実践できるようにしました。



④ 題材を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、題材の目標を設定します。

題材の目標は、学習指導要領解説に示された家庭分野の目標並びに題材で指導する項目及び指導事項を踏まえて設定します。

【題材の目標】

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択、衣服の計画的な活用の必要性、日常着の手入れ及び製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

⑤ 題材を通して身に付けさせたい資質・能力を育成するために、「2 題材デザインの手順」で示した一連の学習過程を基に、指導と評価の計画を立てます。

題材を通して身に付けさせたい資質・能力を育成するために、一連の学習過程を基に、指導と評価の計画を立てます。下に示す「指導と評価の計画を作成する際のポイント」を御参照ください。学習評価の詳細については、[「学習評価の進め方」](#)及び[「学習評価 FIRST STEP」](#)を御参照ください。

指導と評価の計画を作成する際のポイント

【生活の課題発見】

- ① 当該内容における「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせ、自分の生活の実態に基づいて問題を認識し、解決すべき課題について考え、課題を明確にします。
- ② 見通しの場面では、「何のために学習するのか」、その目的を明確にすることによって生徒が学ぶ意義を自覚できるようにします。

【解決方法の検討と計画】

- ③ 生活課題を解決するための根拠となるような知識及び技能を習得する場面を設定します。
- ④ 解決策を計画する際、他者からの意見等を踏まえて計画を見直し、最善の方法を判断・決定できるようにします。

【課題解決に向けた実践活動】

- ⑤ 習得した知識及び技能を活用し、調理・製作等の実習や、調査、交流活動等を通して、課題の解決に向けて実践する場面を設定します。

【実践活動の評価・改善】

- ⑥ 実践した結果を振り返り、考察したことを発表し合い、他者からの意見を踏まえて、さらに改善策を検討する場面を設定します。
- ⑦ 考察したことについて根拠や理由を明確にして筋道を立てて説明したり、発表したりできるようにします。

左記の留意点を踏まえた題材の指導と評価の計画（例）を下に示します。



指導と評価の計画(題材の例)

過程	時	○ねらい・学習活動	
生活の課題発見	1	○健康・快適で持続可能な衣生活を送ることについて問題を見だし、課題を設定することができる。 ・小学校での学習や、今までの経験から、衣服を選ぶ際に困ったことや、失敗したこと等の問題を見だし、題材全体を貫く課題を設定する。 <題材全体を貫く課題> 健康・快適で持続可能な衣生活を送るためには、どのようなことが大切なのだろう。	①生徒が「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせ、自分の生活の実態に基づいて問題を認識し、解決すべき課題について考え、課題を明確にします。
	2 ・ 3	○衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択について理解するとともに、衣服の選択について考え、工夫することができる。 ・衣服と社会生活との関わりを考える。 ・目的に応じた着用や個性を生かした着用をするときの衣服の適切な選択について、話し合う。 ・組成表示や取扱い表示等、衣服の様々な表示について調べる。	②見通しの場面では、「何のために学習するのか」、その目的を明確にすることによって生徒が学ぶ意義を自覚できるようにします。
解決方法の検討と計画	4 ・ 7	○衣服の計画的な活用の必要性について理解することができる。 ・データ等から、購入から廃棄までを見通した計画的な活用について話し合う。 ○衣服の材料や汚れに応じた洗濯について理解し、適切にできるとともに、日常着の洗濯の仕方について考え、工夫することができる。 ・自分の日常着の洗濯について課題を設定し、グループで話し合う。 ・同様の課題を設定したグループで、それぞれ解決方法を調べたり、実験したりする。 ・学んだことを生かして自分の衣服の洗濯の方法を考える。 ・元のグループに戻り、材料や汚れ方に応じた洗濯の仕方について考えを発表し合う。 ○衣服の状態に応じた日常着の補修の仕方について理解し、適切にできる。 ・補修が必要な場合について、まつり縫いとこれまで学習してきた縫い方を比べ、まつり縫いの特徴についてまとめる。 ・まつり縫いやスナップ付けなどの補修について、その目的と布地に適した方法を考え、実習する。	③生活課題を解決するための根拠となるような知識及び技能を習得する場面を設定します。
	8	○自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について問題を見だし、課題を設定する。 ・地域や家庭の衣生活に関する動画やデータから自分や家族の衣生活についての問題を見いだす。 ・自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた製作について、キーワードを参考に自分の課題を設定する。 ・自分や家族の生活を豊かにする物を製作する際の条件を確認する。	④解決策を計画する際、他者からの意見等を踏まえて計画を見直し、最善の方法を判断・決定できるようにします。
課題解決に向けた実践活動	9 ・ 16	○自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画について考え、工夫するとともに、製作することができる。 ・再利用する衣服等の素材や特徴を生かして、製作計画を立てる。 ・同様の作品を製作するグループで、互いによりよいものになるよう話し合いながら製作計画に沿って製作する。 ○自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について振り返り評価したり、改善したりすることができる。 ・自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について振り返り、自己評価をする。	⑤習得した知識及び技能を活用し、調理・製作等の実習や、調査、交流活動等を通して、課題の解決に向けて実践する場面を設定します。
実践活動の評価・改善	17	○自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について発表するとともに、これまでの学習から、健康・快適で持続可能な衣生活を送るために大切なこと（衣服の選択、日常着の手入れ、衣服等の再利用について）をまとめることができる。 ・自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の作品について発表する。 ・資源や環境に配慮し持続可能な衣生活を送るために、これから自分が大切にしていけることをまとめる。	⑥実践した結果を振り返り、考察したことを発表し合い、他者からの意見を踏まえて、さらに改善策を検討する場面を設定します。
			⑦考察したことについて根拠や理由を明確にして筋道を立てて説明したり、発表したりできるようにします。

学習評価 FIRST STEP ―中学校技術・家庭科（家庭分野）―

1 学習評価は何のため？

学習評価の目的は、生徒の資質・能力を育成することです。生徒の学習状況を適切に見取り、生徒の学習改善や教師の指導改善に生かすことが大切です。



2 学習評価の機能

○指導に生かす評価

生徒一人一人の学習状況を把握し、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげるための評価のこと
※生徒の学習改善や教師の指導改善のために、日々の授業の中で生徒の学習状況を絶えず評価することが大切です。毎時間生徒の学習状況を見取り、**指導に生かす評価**を行いましょう。

○記録に残す評価

観点別学習状況の評価を総括する際の資料となるよう、学習状況を記録する評価のこと
※毎回の授業において、**記録に残す評価**を行う必要はありません。生徒全員の評価を記録に残す場面を精選することが重要です。単元のまとまりの中で、評価規準に照らして、生徒の観点別学習状況を把握し、記録します。

3 評価の観点とその趣旨

評価の観点とその趣旨は以下のとおりです。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費生活や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

4 評価のポイント

観 点	評価すること	評価方法
知識・技能	「知識」⇒「家族・家庭の基本的な機能について理解しているか、生活の自立に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けているか、また、それらの知識が社会の様々な場面で活用できる概念として理解しているか」 「技能」⇒「自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて主体的に活用できるか」	「知識」 ・ワークシート・ペーパーテスト 等 「技能」 ・教師による行動観察・写真・動画 ・生徒の相互評価の記述内容等
思考・判断・表現	*4段階で構成される一連の問題解決的な学習過程（以下、「一連の学習過程」と示す）に沿って評価します。 ①【生活の課題発見】「生活の中から問題を見だし、解決すべき課題を設定しているか」 ②【解決方法の検討と計画】「課題について多面的に捉え、解決方法を検討し、計画、立案しているか」 ③【課題解決に向けた実践活動】「実践した結果を評価・改善しているか」 ④【実践活動の評価・改善】「考察したことを論理的に表現しているか」	・ワークシート ・計画表 ・実践記録表 ・レポート ・制作した作品 ・発表 ・教師による行動観察 等
主体的に学習に取り組む態度	①粘り強さ②自らの学習の調整③実践しようとする態度の3つの側面から評価します。 ①「粘り強さ」⇒「生活の中の課題の解決に主体的に取り組んでいるか」 ②「自らの学習の調整」⇒「一連の活動を振り返って改善しているか」 ③「実践しようとする態度」⇒「生活を工夫し創造し、実践しているか」	・ワークシート・計画表 ・実践記録表・ポートフォリオ・発言 ・教師による行動観察 ・生徒の自己評価や相互評価等の状況 等

5 評価規準作成のポイント

知識・技能	学習指導要領に示されている取り扱う指導事項アについて、その文末を「～について理解している」「～について理解しているとともに、適切にできる」とします。
思考・判断・表現	一連の学習過程の4段階に沿って、①「～について問題を見いだして課題を設定している」②「～について考え、工夫している」③「～について実践を評価したり、改善したりしている」④「～についての一連の活動について、考察したことを論理的に表現している」などとしします。
主体的に学習に取り組む態度	①粘り強さ②自らの学習の調整③実践しようとする態度を含めることを基本とし、①「～について課題の解決に主体的に取り組もうとしている」②「～について課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている」③「よりよい～の実現に向けて、～について工夫し創造し、実践しようとしている」などとしします。

6 題材における学習評価の場面【具体例】健康・快適で持続可能な衣生活

※指導と評価の計画の作成については「[題材デザイン FIRST STEP](#)」を御覧ください。

小題材	時	○ねらい・学習活動	評価規準(丸数字) 評価方法(□)		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
衣服の一生	1	○健康・快適で持続可能な衣生活を送ることに ついて問題を見だし、課題を設定することが できる。 ・小学校での学習や、これまでの経験から、衣服 を選ぶ際に困ったことや、失敗したこと等の 問題を見だし、題材全体を貫く課題を設定 する。		題材全体を貫く課題 ①健康・快適で持続 可能な衣生活を送 るために、衣服の選 択、日常着の手入 れ、衣服等の再利 用などについて問 題を見いだして課 題を設定している。 □ワークシート	
自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作	8	○自分や家族の生活を豊かにするための布を 用いた物の製作について問題を見だし、課 題を設定する。 ・地域や家庭の衣生活に関する動画やデー タから自分や家族の衣生活についての問題 を見いだす。 ・自分や家族の生活を豊かにするための布を 用いた製作について、キーワードを参考に自 分の課題を設定する。 ・自分や家族の生活を豊かにする+雨の布を 用いた物を製作する際の条件を確認する。		①自分や家族の生活 を豊かにするため の布を用いた物の 製作について、課題 の解決に向けて主 体的に取り組もう としている。 □ポートフォリオ	生活の課題を解決するための 根拠となるような知識及び技能 を習得する場面で「知識・技能」 を評価します。 ⇒「4 評価のポイント」 知識・技能 を御参照ください。
	9 ～ 16	○自分や家族の生活を豊かにするための布を 用いた物の製作計画について考え、工夫す るとともに、製作することができる。 ・再利用する衣服等の素材や特徴を生かして、 製作計画を立てる。 ・同様の作品を製作するグループで、互いにより よいものになるよう話し合いながら製作計 画に沿って製作する。 ○自分や家族の生活を豊かにするための布を 用いた物の製作について振り返り評価したり 、改善したりすることができる。 ・自分や家族の生活を豊かにするための布を 用いた物の製作について振り返り、自己評 価をする。	⑥製作する物に適 した材料や縫い方 について理解して いるとともに、製 作が適切にでき る。 □作品 □ワークシート ⑦用具の安全な取 扱いについて理解 しているとともに 、適切にできる。 □行動観察 ※ペーパーテスト	②自分や家族の生活 を豊かにするため の布を用いた物の 製作について、課 題解決に向けた一 連の活動を振り返 って改善しよう としている。 □ポートフォリオ □ワークシート ③自分や家族の生活 を豊かにするため の布を用いた物の 製作について、課 題解決に向けた一 連の活動を振り返 って改善しよう としている。 □ポートフォリオ □ワークシート ④よりよい衣生活 の実現に向けて、 生活を豊かにする ための布を用いた 物の製作について 工夫し創造し、実 践しようとしている。 □ポートフォリオ	一連の学習過程の4段階に沿っ て、「思考・判断・表現」におけ る①②③④を評価します。 ⇒「4 評価のポイント」 思考・判断・表現 を御参照くだ さい。
健康・快適で持続可能な衣生活を送るために	17	○自分や家族の生活を豊かにするための布を 用いた物の製作について発表するとともに、 これまでの学習から、健康・快適で持続可 能な衣生活を送るために大切なこと（衣服の選 択、日常着の手入れ、衣服等の再利用につ いて）をまとめることができる。 ・自分や家族の生活を豊かにするための布を 用いた物の作品について発表する。 ・資源や環境に配慮し持続可能な衣生活を送 るために、これから自分が大切にしてい くことをまとめる。		題材全体を貫く課題 ④健康・快適で持続 可能な衣生活を送 るための課題解決 に向けた一連の活 動について、考察 したことを論理的 に表現している。 □ワークシート	各題材の学習過程において、 「主体的に取り組む態度」にお ける①②③を評価します。 ⇒「4 評価のポイント」 主体的に学習に取り組む態度 を御参照ください。

※ペーパーテストについては、ある程度の内容のまとまりについて実施すること考えられます。
※特に記載がない評価は、全て**記録に残す評価**となります。

*(注)4段階で構成される一連の問題解決的な学習過程については、中学校学習指導要領(平成 29 年度告示)解説 技術・家庭編p.65 を御参照ください。

学習評価の詳細については、佐賀県教育センターWeb「[学習評価の進め方](#)」を御参照ください。



授業モデル

中学校技術・家庭科（家庭分野） 第1学年

題材名 健康・快適で持続可能な衣生活（全17時間）

1 題材について

本題材は、「B衣食住の生活」の(4)「衣服の選択と手入れ」アの(ア)、(イ)及びイと(5)「生活を豊かにするための布を用いた製作」のA及びイとの関連を図っています。衣服の選択、日常着の手入れ、生活を豊かにするための布を用いた製作について課題をもち、それらに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して衣生活の課題を解決する力や、衣生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成することをねらいとしています。

🔗[「題材デザイン FIRST STEP」](#)

2 題材の目標

- (1) 衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択、衣服の計画的な活用の必要性、日常着の手入れ及び製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (2) 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

4 指導と評価の計画（17 時間）

* 太字は、評価の場面となる学習活動を示しています。

* 太枠は、次の項で指導と評価の具体について示しています。

小 題 材	時 間	○ねらい・学習活動	評価規準（丸数字） 評価方法（□）		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
衣服の 一生	1	○健康・快適で持続可能な衣生活を送ることについて問題を見だし、課題を設定することができる。 ・小学校での学習や、今までの経験から、衣服を選ぶ際に困ったことや、失敗したこと等の問題を見だし、題材全体を貫く課題を設定する。		題材全体を貫く課題 ①健康・快適で持続可能な衣生活を送るために、衣服の選択、日常着の手入れ、自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作などについて問題を見だして課題を設定している。 □ワークシート	
		＜題材全体を貫く課題＞ 健康・快適で持続可能な衣生活を送るためには、どのようなことが大切なのだろう。			
衣服の 選択と 着用	2・3	○衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択について理解するとともに、衣服の選択について考え、工夫することができる。 ・衣服と社会生活との関わりを考える。	①衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用について理解している。 □ワークシート ※ペーパーテスト ②衣服の適切な選択について理解している。 □ワークシート ※ペーパーテスト	①衣服の選択について問題を見だして課題を設定している。 □ワークシート ＜小題材の課題1の例＞ 冠婚葬祭の衣服を選択する時にどのようなことに気を付けた方がよいだろう。 ②衣服の選択について考え、工夫している。 □ワークシート ③衣服の選択について、実践を評価したり、改善したりしている。 □ワークシート	①衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 □ポートフォリオ □ワークシート □行動観察
		・冠婚葬祭（日本の伝統的な和服） ・祭りや花火大会（半被、浴衣） ・所属や職業を表す（制服、消防服）など ・目的に応じた着用や個性を生かした着用をするときの衣服の適切な選択について、話し合う。 ・組成表示や取扱い表示等、衣服の様々な表示について調べる。			

衣服を長く大切に	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ○衣服の計画的な活用の必要性について理解することができる。 - データ等から、購入から廃棄までを見通した計画的な活用について話し合う。 - 長持ちさせるための手入れ - 衣服の再利用 など ○衣服の材料や汚れに応じた洗濯について理解し、適切にできるとともに、日常着の洗濯の仕方について考え、工夫することができる。 - 自分の日常着の洗濯について課題を設定し、グループで話し合う。 - 油汚れ、洗濯による衣服の縮み - 丈夫さ、防しわ - ブラシかけ、アイロンかけ - 電気洗濯機、手洗い - 水や洗剤の適切な使い方 など - 同様の課題を設定したグループで、それぞれ解決方法を調べたり、実験したりする。 - 学んだことを生かして自分の衣服の洗濯の方法を考える。 - 元のグループに戻り、材料や汚れ方に応じた洗濯の仕方について考えを発表し合う。 ○衣服の状態に応じた日常着の補修の仕方について理解し、適切にできる。 - 補修が必要な場合について、まつり縫いとこれまで学習してきた縫い方を比べ、まつり縫いの特徴についてまとめる。 - まつり縫いやスナップ付けなどの補修について、その目的と布地に適した方法を考え、実習する。	③衣服の計画的な活用の必要性について理解している。 ☐ワークシート ※ペーパーテスト ④衣服の材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯の仕方について理解できるとともに、適切にできる。 ☐行動観察 ☐ワークシート ※ペーパーテスト ⑤衣服の状態に応じた日常着の補修の仕方について理解できるとともに、適切にできる。 ☐練習布 ※ペーパーテスト	①材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯の仕方について問題を見いだして課題を設定している。 ☐ワークシート <小題材の課題2の例> 制服を長持ちさせる洗濯や手入れの方法にはどのようなものがあるだろう。 ②材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯の仕方について考え、工夫している。 ☐ワークシート ※ペーパーテスト ③材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ☐ワークシート ④材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ☐ワークシート 指導に生かす評価	②衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ☐ポートフォリオ ☐ワークシート ☐行動観察 ③よりよい衣生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について工夫し創造し、実践しようとしている。 ☐ポートフォリオ
-----------------	---	--	--	---

自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作	8 ○自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見だし、課題を設定する。 ・地域や家庭の衣生活に関する動画やデータ等から自分や家族の衣生活についての問題を見いだす。 ・自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、キーワードを参考に自分の課題を設定する。 p.5 ・自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物を製作する際の条件を確認する。 <条件> ①現在使っていない衣服等を利用する。 ②小学校やこれまでに学習した技能を生かす。 ③衣服や布でできた物を自分や家族の生活を豊かにする物によみがえらせる。 ④計画を含め8時間で製作する。		①自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見だして課題を設定している。 □ワークシート <小題材の課題3の例> 思い出の基平を活用してファイルカバーを製作するには、どのような工夫をすればよいのだろう。	①自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 □ポートフォリオ
	9 ○自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について考え、工夫するとともに、製作することができる。 ・再利用する衣服等の素材や特徴を生かして、製作計画を立てる。 (例) ・ブラウスからクッションカバーやティッシュカバーを作る。 ・ジーンズからバッグを作る。 ・浴衣からのれんや食器棚のカーテンを作る。 ・衣服等のボタンやファスナーを生かしたポーチを作る。 など ・同様の作品を製作するグループで、互いによりよいものになるよう話し合いながら製作計画に沿って製作する。 ○自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について振り返り評価したり、改善したりすることができる。 ・自分や家族の生活を豊かにする物の製作について振り返り、自己評価をする。	⑥製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、製作が適切にできる。 □作品 □ワークシート ⑦用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 □行動観察 ※ペーパーテスト	②自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について考え、工夫している。 □行動観察 □ワークシート ③自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 □行動観察 □ワークシート □作品	②自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 □ポートフォリオ □ワークシート ③よりよい衣生活の実現に向けて、自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について工夫し創造し、実践しようとしている。 □ポートフォリオ

健康・快適で持続可能な衣生活を送るために	17 ○自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について発表するとともに、これまでの学習から、健康・快適で持続可能な衣生活を送るために大切なこと（衣服の選択、日常着の手入れ、衣服等の再利用について）をまとめることができる。 ・自分や家族の生活を豊かにする物の作品について発表する。 ・資源や環境に配慮し持続可能な衣生活を送るために、これから自分が大切にしていけることをまとめる。 p.7		題材全体を貫く課題 ④健康・快適で持続可能な衣生活を送るための課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 □ワークシート
----------------------	--	--	--

※ペーパーテストについては、ある程度の内容のまとまりについて実施することも考えられます。

※特に記載がない評価は、全て「記録に残す評価」となります。

5 本題材における指導と評価の一体化を図るために

本題材では、第1時目に「健康・快適で持続可能な衣生活」を送るための「題材全体を貫く課題」を設定し、第2～3時目「衣服の選択と着用」、第4～7時目「衣服を長く大切に」第8～16時目「自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作」という三つの小題材で構成しています。17時目には「題材全体を貫く課題」の解決に向けた一連の活動を振り返り、実践に向けたまとめを行うようにします。

第8時目及び第17時目の指導と評価について、考えられる具体を以下に示します。

1：問題を見だし課題を設定する学習活動での指導と評価

<思考・判断・表現>

第8時目「自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見だし、課題を設定する」学習活動における指導と評価について、考えられる具体を示します。

ここでは、まず、地域や家庭の衣生活に関する動画やデータ等から見いだした問題を自分事として捉えることで、学習に必然性や有用感をもつことができるようにしました。次に、生徒の発言から生活の営みに係る見方・考え方（以下、「見方・考え方」）につなげるキーワードを引き出すようにしています。その後、生徒がキーワードを参考にして「見方・考え方」を働かせることができるよう発問や問い返しなどを行い、自分の課題を設定できるようにすることをねらいとしています。

自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について問題を見だし課題を設定する学習活動

◆「題材全体を貫く課題」との関連を意識付け、問題を自分事として捉える場面



地域や家庭の衣生活に関する動画やデータから、このような問題がありましたね。

- ・大量生産、大量消費、大量廃棄
- ・生産も廃棄も環境負荷が多大
- ・着ない衣服の68%がゴミとして廃棄
- ・廃棄衣服の66%が埋め立てや焼却



これらの問題について、「題材全体を貫く課題」に照らして、何か気付いたことはないですか？

資源や環境のことを考えていないです。持続可能ではないし、健康で快適な状態とも言えません。うちにも着ない服がたくさんあります。1回しか着ていない服もあるかもしれません。この前の大掃除で、たくさんの洋服をゴミに出したけれど、回収された後はどのようなになったのか気になります。



◆「見方・考え方」を働かせるためのキーワードを生徒の発言から引き出す場面

①持続可能な社会の構築の視点



では、資源や環境のことを考えて、持続可能な衣生活を送るためには、どのようにすればよいでしょうか？

お下がりしたり古着店に売ったりしてリユースする。補修して使用する。リメイクして使用する。資源ごみに出してリサイクルする。



流行に流されないで必要かよく考えて購入する。環境に配慮している企業のもをかう。購入するときに環境への負荷を検討する。

・リユース ・補修（リペア） ・再利用（リメイク）
・リサイクル ・必要性の検討
・企業努力、企業理念 ・環境負荷

※下線はキーワードとして板書する言葉



これらは、これからの生活でも資源や環境に配慮するためのキーワードになりそうですね。



今、皆さんから出た資源や環境に配慮するためのキーワードの中から、再利用（リメイク）を取り上げて、着なくなった衣服等を再利用して、自分や家族の生活を豊かにする物を製作してみませんか？まず、衣服等を再利用することの利点は何でしょうか？

資源が節約できる。ゴミが減る。お金が節約できる。
着ることができなくなったお気に入りの服を生まれ変わらせることができれば嬉しい。



②健康・快適・安全の視点



そうですね。
では次に、自分や家族の生活を豊かにする物を製作することの利点を考えてみましょう。

手作りしたら、愛着がわいて大切に使う。
こだわりの機能で世界唯一の物ができる。



自分や家族の思い通りのデザインの物を作ることができる。
個性が表現できる。

・愛着 ・こだわりの機能 ・世界唯一
・思い通りのデザイン ・個性

※下線はキーワードとして板書する言葉



これらは、身の回りの生活を快適にしたり、自分や家族、地域の生活を豊かにしたりするためのキーワードとなりそうですね。

◆自分の課題が設定される場面



では、自分や家族の生活を豊かにするために衣服等を再利用した布を用いた製作について、自分の課題を設定しましょう。
まず、自分の生活を振り返って見いだした問題点を踏まえて、解決したいことはありませんか？

小学生のときに着ていた甚平がお気に入り、楽しい思い出がたくさんあるけれど、小さくなって着ることができなくなりました。愛着があるから捨てたくないし、ずっと押し入れに入れたままになっています。



そうなんですね。その甚平は、再利用できそうですか？

再利用できると嬉しいです。甚平を使って何か作ることができるといいな。
そういえば、習い事のファイルにカバーを付けたいけれど、市販のカバーでは大きさが合いませんでした。そのファイルカバーを製作してみたいです。



それはいいですね。では、自分の課題は何にしたらいいでしょうか。

自分の課題は「思い出の甚平を活用してファイルカバーを製作するには、どのような工夫をすればよいのだろう」にします。



第8時目の評価規準①については、自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作に関する課題設定の記述内容を評価の対象にすることが考えられます。具体的には、地域や家庭の衣生活について、「見方・考え方」の「持続可能な社会の構築」及び「健康・快適・安全」に関する自分や家族の衣生活についての問題を見だし、その問題の解決につながる自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作についての課題を設定した理由を記述した内容から評価することが考えられます。

課題を設定するための生徒のワークシート記入例と評価例の一部を以下に示します。

課題を設定するための生徒のワークシート記入例と評価例の一部 ＜思考・判断・表現＞①

◇自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作をするに当たって、自分や家族の課題を設定し、その理由を書きましょう。

※自分について課題を設定した生徒の「おおむね満足できる」状況（B）と判断される記述の例

＜小題材の課題＞

思い出の甚平を活用してファイルカバーを製作するには、どのような工夫をすればよいのだろう。

＜小題材の課題を設定した理由＞

私の思い出の甚平を活用し、習い事で使うことができるファイルカバーを製作したら、習い事も今までより楽しくなると思うし大切に使うようになる。

「見方・考え方」の「持続可能な社会の構築」及び「健康・快適・安全」の視点から自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見だして課題を設定し、その理由を適切に示していることから（B）と判断することができると考えられます。

※家族について課題を設定した生徒の「十分満足できる」状況（A）と判断される記述の例

＜小題材の課題＞

環境のことを考え、母が活用しやすいエコバックを製作しよう。

＜小題材の課題を設定した理由＞

今まで、欲しいと思ったときに必要性もあまり考えずに衣服を購入していたため、資源や環境に負荷が掛かっていることを考えていなかった。そのため、今ある衣服で着ない物から家族の役に立つ物によみがえらせたい。母親がエコバックを欲しがっていたので、大きさ・形・肩紐の長さ・ポケットの位置などの要望を基に工夫して製作したい。そして、母親と一緒にこれからの衣服の購入を考えたい。

※下線部は、（A）と判断した記述内容

「見方・考え方」の「持続可能な社会の構築」及び「健康・快適・安全」の視点を関連付け、自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見だして課題を設定し、その理由を適切かつ具体的に示していることから（A）と判断することができると考えられます。

「努力を要する」状況（C）と判断される生徒に対しては、ほかの生徒の記述内容を参考に、自分が解決したい課題を記述できるようにし、教師とともに課題を設定することも考えられます。

2：健康・快適で持続可能な衣生活を送るために大切なことをまとめる学習活動での指導と評価

＜主体的に学習に取り組む態度＞

第17時目の「資源や環境に配慮し持続可能な衣生活を送るために、これから自分が大切にしていこうことをまとめる」学習活動における指導と評価について、考えられる具体を示します。

ここでは、自分や友人の作品発表や今までの「衣服の選択と着用」「衣服を長く大切に」「自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作」についての学習を振り返り、再度＜題材全体を貫く課題＞について考えることで、家庭での実践に向けた展望を確認できるようにします。その際、評価の材料としてポートフォリオを活用することが考えられます。ポートフォリオを作成する際には、教師が生徒の記述内容から適切に見取ることができるように、生徒の学びの軌跡や生徒の思考等の変容を確認で

きるような構成にしておくことが大切です。

第8～17時目の評価規準③については、ポートフォリオの記述内容を記録に残す評価とすることが考えられます。具体的には、今までの「衣服の一生」「衣服の選択と着用」「衣服を長く大切に」「自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作」の学習を通して、よりよい生活の実現に向けて「持続可能な社会の構築」の視点から環境に配慮した衣生活の大切さに気づき、家庭でも実践しようとしているかについて見取ります。

学習を振り返り、これからの生活を展望する場面において、生徒のポートフォリオ記入例と評価例の一部を以下に示します。

学習を振り返り、これからの生活を展望するためのポートフォリオ記入例と評価例の一部

＜主体的に学習に取り組む態度＞③

衣生活の学びポートフォリオ

問題から見いだした課題

題材を扱う課題 健康・快適で持続可能な衣生活を送るためには、どのようなことが大切なのだろう。				
学習内容	小題材の課題 (自分の課題)	できるようになるまで 粘り強く取り組んだこと	○できたこと △できなかったこと	次に生かしたいこと
衣服の一生				
衣服の選択と着用				
衣服を長く大切に				
自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作				

課題の解決

「健康・快適で持続可能な衣生活」を送るために、これからあなたが大切にしていこうことは何ですか。

※「おおむね満足できる」状況（B）と判断される記述の例

TPOに応じた衣服の選択を考えたり、汚れに合った洗濯をしたり、見えそうなものは再利用したりすることが、健康・快適で持続可能な衣生活を送ることにつながる事が分かったので、意識していきたい。

「見方・考え方」の「持続可能な社会の構築」及び「健康・快適・安全」の視点から、「衣服の選択」「日常着の手入れ」「自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作」について学んだことを振り返り、これからの生活に生かすことを考えていることから（B）と判断することができると考えられます。

※「十分満足できる」状況（A）と判断される記述の例

本当に必要なものは何かを考えて衣服を購入・選択したり、表示を確認し、素材や汚れに応じた手入れをしたりして衣服を長持ちさせたい。自分や家族の衣服などを整理し、衣服の素材や形を生かした再利用を考え、環境への配慮や持続可能な生活につなげていこうと思う。

※下線部は、（A）と判断した記述内容

「見方・考え方」の「持続可能な社会の構築」及び「健康・快適・安全」の視点を関連させて、「衣服の選択」「日常着の手入れ」「自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作」について学んだことを振り返り、これからの生活に生かすことを具体的に考えていることから（A）と判断することができると考えられます。

「努力を要する」状況（C）と判断される生徒に対しては、次の題材において、学習を振り返る場面で、これまでのポートフォリオの記述内容を振り返り、自分の課題を解決できる実践内容を記述するように促すことが考えられます。

題材の目標や評価規準の設定、指導と評価の計画の作成については、国立教育政策研究所『[『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料](#)』や佐賀県教育センターWeb『[学習評価の進め方](#)』、[『題材デザイン FIRST STEP』](#)、[『学習評価 FIRST STEP』](#)を御参照ください。



【参考】第8時の展開例

(1) 第8時の目標

- ・自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について問題を見いだし、課題を設定することができる。

(2) 第8時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価場面・評価方法
導入	1 自分や家族の衣生活について振り返り、本時の学習課題を確認する。 ＜学習課題＞ 自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について問題を見いだし、自分の課題を設定しよう。	・ICTを活用したアンケート結果や前時までの学習を振り返り、自分や家族の衣生活についての現状を捉えることができるようにする。	
展開	2 地域や家庭の衣生活に関する動画やデータから自分や家族の衣生活についての問題を見いだす。 3 自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、キーワードを参考に自分の課題を設定する。 ＜小題材の課題③の例＞ 思い出の甚平を活用してファイルカバーを製作するには、どのような工夫をすればよいのだろう。 など 4 自分や家族の生活を豊かにする物を製作する際の条件を確認する。 ＜条件＞ ①現在使っていない衣服等を利用する。 ②小学校やこれまでに学習した技能を生かす。 ③衣服や布でできた物を自分や家族の生活を豊かにする物によみがえらせる。 ④計画を含め8時間で製作する。	・問題を自分事として捉えることができるようにするために衣生活に係る現状を動画やデータ等で示す。 ・「題材全体を貫く課題」に照らして気付いたことを確認し、自分の現状を振り返るようにする。 ・「見方・考え方」を働かせるためのキーワードを生徒の発言から引き出す。 「見方・考え方」の視点 ◇持続可能な社会の構築の視点 ◇健康・快適・安全の視点 ・自分の衣生活を振り返って見いだした問題について、解決した姿を想起するよう促し、自分が解決したい課題が明確になるようにする。 ・自分や家族の生活を豊かにするための視点の優先順位は、人によって違ってよいことを促す。 ・「見方・考え方」を働かせながら自分が設定した課題の具体的な理由を記述するように促す。 ・現在使っていない衣服等を利用して製作した物の実物見本や写真等を提示することで、自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作についての見通しをもつことができるようにする。 ・布の性質を考慮して製作する物を決める必要があることを助言する。	自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、持続可能な社会の構築と健康・快適・安全の視点から個人の課題を設定する場面 ■評価方法 【ワークシート】 思考・判断・表現①
終末	5 本時の学習をまとめ、次時の製作計画に向けて確認する。	・材料の準備等に配慮し、次時からの製作の意欲につなげるようにする。	

